

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/05/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.42	0.17
JPY/THB	0.2277	0.0023
USD/JPY	146.75	-0.73
EUR/THB	37.28	0.11
EUR/USD	1.1175	-0.0010
USD/CNH	7.211	0.012
SGD/THB	25.64	0.10
AUD/THB	21.48	-0.03
USD/INR	85.28	-0.07
USD Index	101.04	0.04

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.668	0.010
10Y (THB)	1.905	0.020
5Y (USD)	4.167	0.069
10Y (USD)	4.536	0.071

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,188.3	-59.5
WTI (Oil)	63.15	-0.52
Copper	9,606.5	7.0

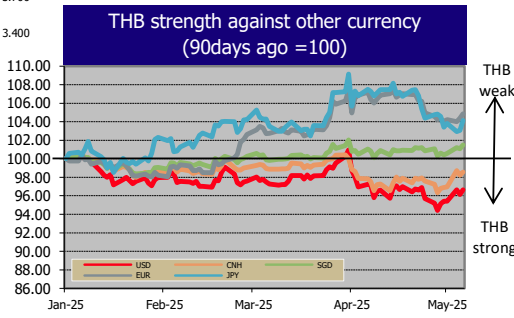
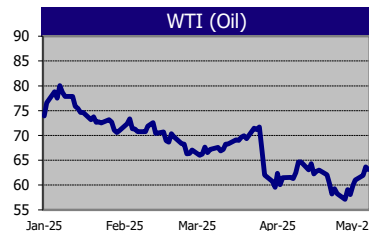
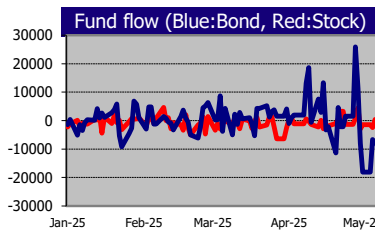
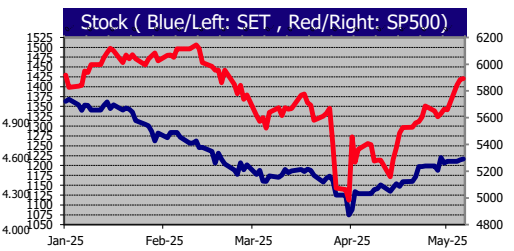
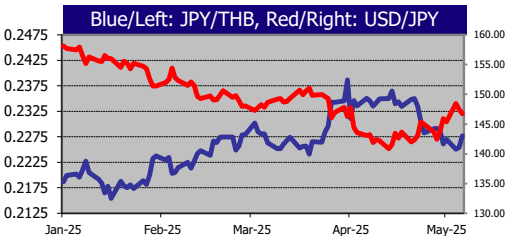
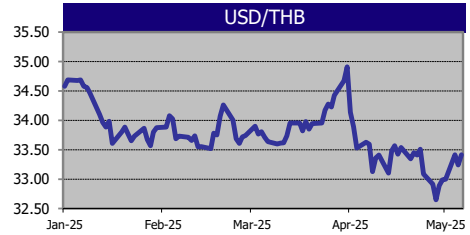
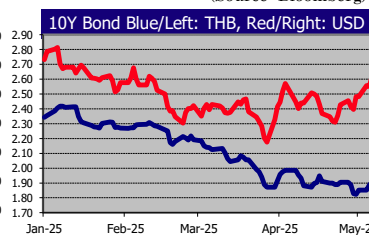
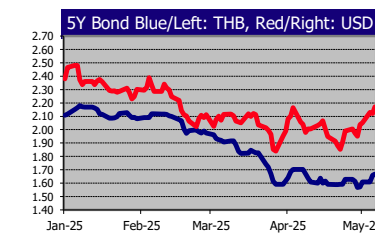
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,216.71	2.32
NIKKEI (JP)	38,128.13	-55.13
DOW (US)	42,051.06	-89.37
S&P500 (US)	5,892.58	6.03
SHCOMP (CN)	3,403.95	29.08
DAX(GER)	23,527.01	-111.55

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	426	2891.7
Bond net flow	(7,831)	-1201.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。33パーツ台前半でスタート。バンコクオープン後はレンジ推移となったが、午後に「5月上旬に米韓高官が為替について協議していた」とのヘッドラインが確認されると、対韓国ウォンでのドル急落に連れて下落。しかし、その後は米長期金利上昇を横目に、値を戻す展開となった。NY時間午後に「米国は各国との貿易交渉でドル安を模索していない」との一部の報道を受け、ドル買いが加速し、33.42レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。147円台半ば付近でスタート。東京時間は新規材料に乏しく、実需や利益確定と思われる動きが主導で、147円ちょうど付近まで下落。欧州時間に米韓関税交渉に関するヘッドラインを受け、対韓国ウォンでのドル急落に連れて一時145円台後半まで値を下げるも、一服後は米長期金利上昇を背景に、146円台に持ち直した。NY時間午後に「米国はドル安を模索せず」との一部の報道が確認されると、一時147円台に乗せる場面も見られた。終盤にかけて底堅く推移し、146.75レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

今週は、週明けの米中関税協議の良好な結果を受けて、ドル買い、アジア通貨売り(除く人民幣)の地合いで始まったが、その勢いは長くは続かず、13日に発表された米4月CPIが弱かったことも相俟って、ドル売り優勢の流れに反転。いまのところ各国による米政権との関税交渉に悲観的な内容は見受けられないものの、これまでリスクオンによる株の上昇が続いたため、一旦巻き戻しの動きが出ているということだろう。他方、ドル円については、日本固有の材料もある。4月に急速に暴落した日銀の年内追加利上げの織り込みは、トランプ関税の状況が好転したことを受け、足元では年内1回あるとの予想が7割を超えてきた。また、来週には加藤財務相とベッセント米財務長官による為替協議や、3回目となる事務レベルの関税交渉も行われるとの報道があり、米国が円安修正を求めるシナリオへの警戒が再燃しつつある。今週のイベントとしては、本日米国時間にパウエルFRB議長の講演が予定されているが、先週FOMCを終えたばかりで追加材料が出ることは期待しにくい。目先は日米為替協議、関税協議の行方に注目したい。そのほか気になるのは16日朝発表の日本の第1四半期GDP速報。トランプ関税の影響がはじめるのは第2四半期とされているが、その前の段階で1年ぶりとなるマイナス成長が予想されており、想定以上の下振れとなれば、円売りを喚起する可能性がある。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.